


事務事業名	第1次拡張事業					所属部	公営企業部	所属課	水道課
施策名	1.0 快適で暮らしやすい生活環境づくり					所属担当	工務担当	課長名	大勝 忠彦
法令根拠	水道法 笛吹市水道事業給水条例					個別計画	笛吹市水道事業基本計画		
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度(H21年度～H29年度)	
	上水道	1	1	2					
○事務事業の概要および主な事業費の内訳						 <p>▲送水管布設工事の状況</p>			
水道水を安定して供給するため、笛吹畑かんを水源とする浄水施設や関連する配水施設等を整備し、地区間の連絡管を整備する。  平成27年度の主な事業費(単位:千円) ・工事費285,523 ・委託料972 ※ 繰越事業費 平成26年度→平成27年度 39,824千円 平成27年度→平成28年度128,591千円									

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
御坂浄・配水場からの送・配水管布設工事及び舗装本復旧工事	境川浄配水場からの送水管布設工事 御坂浄・配水場からの送・配水管布設工事及び舗装本復旧工事	舗装本復旧工事 既設配水池流入管・設備工事	

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

- ・上水道の給水区域の市民

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア年間総配水量	千m <sup>3</sup>
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ新規計画の浄水量 (1日当り)	m <sup>3</sup>
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ新規の浄水量 (1日当り)	m <sup>3</sup>
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ上水道普及率	%

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

- ・安全な水道水が安定して得られる。

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

- ・日常生活に欠かせない社会基盤が整備され、快適に暮らすことができる。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円	351,304	349,088				水道水源開発等施設整備費
		財源内訳	千円						
		地方債	千円	714,300	682,300	134,700	186,100	46,000	
		その他	千円	714,300	632,350	134,700	186,100		
		一般財源	千円	19,318	93,515	18,470	195	480	
	事業費計(A)	千円	1,799,222	1,757,253	287,870	372,395	46,480	0	
人件費	正規職員延従事人数	人	4.00	4.00	3.00	3.00	3.00		
	人件費計(B)	千円	26,540	27,440	20,580	20,580	20,580	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,825,762	1,784,693	308,450	392,975	67,060	0	
活動指標	ア	千m <sup>3</sup>	10,109	9,756	9,561	9,561	9,561		
対象指標	イ	m <sup>3</sup>	12,460	12,460	12,460	12,460	12,460		
成果指標	ウ	m <sup>3</sup>	3,060	11,150	11,150	11,150	11,150		
上位成果指標	エ	%	97	97	97	97	97		


事務事業名	第1次拡張事業
-------	---------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 現在必要となっている。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達してない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 この事業を行うことにより、必要な給水が確保できる。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 この地区に居住する住民の給水が十分に確保できない。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 計画に基づき、事業執行を行っている。
効率性評価		

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点) 一部送・配水管工事が他事業との関連で遅延していたが、施工の目途がいたので早期に事業を完了したい。																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み 事業は、付帯工事を残し一応の区切りとなるが、今後は地区(旧町)間の連絡管の整備が必要。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		

事務事業名	水道建設事業					所属部	公営企業部	所属課	水道課
施策名	1	0	快適で暮らしやすい生活環境づくり			所属担当	工務担当	課長名	大勝 忠彦
法令根拠	水道法 笛吹市水道事業給水条例					個別計画	笛吹市水道事業基本計画		
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)	
上水道	1	1	1						
○事務事業の概要および主な事業費の内訳						 <p>▲配水管布設工事の状況</p>			
水道事業のうち配水管等の整備を行う事業。上水道計画区域内に新たに配水管を整備すると共に老朽化した配水管の布設替を行っている。また、老朽化した水道施設の更新を行っている。									
平成27年度の主な事業費(単位:千円) ・工事費450,075 ・委託料10,103 ・負担金81,101 ※ 繰越事業費 平成26年度→平成27年度141,370千円 平成27年度→平成28年度 14,615千円									

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

← 実施計画期間 →

27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>道路改修等に併せた配水管等の新規布設及び布設替</li> <li>老朽化した水道配水管の布設替</li> <li>老朽水道施設の更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路改修等に併せた配水管等の新規布設及び布設替</li> <li>老朽化した水道配水管の布設替</li> <li>老朽水道施設の更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路改修等に併せた配水管等の新規布設及び布設替</li> <li>老朽化した水道配水管の布設替</li> <li>老朽水道施設の更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路改修等に併せた配水管等の新規布設及び布設替</li> <li>老朽化した水道配水管の布設替</li> <li>老朽水道施設の更新</li> </ul>

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

・上水道の給水区域の市民

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 送・配水管新規布設・布設替延長	m
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 上水道給水区域の契約者数	件
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 漏水発生件数	件
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 上水道普及率	%

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

・安全な水道水が安定して得られる。  
 ・水道水の漏水等のトラブルにあわない。

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

日常生活に欠かせない社会基盤が整備され、快適に暮らすことができる。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円	283,400	266,200	345,000	180,800	200,000	150,000
		その他	千円	80,066	138,595	106,677	130,836	107,972	110,845
		一般財源	千円	46,194	134,579	89,602	114,692	51,028	98,155
	事業費計(A)	千円	409,660	539,374	541,279	426,328	359,000	359,000	
人件費	正規職員延従事人数	人	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	
	人件費計(B)	千円	23,223	24,010	24,010	24,010	24,010	24,010	
トータルコスト(A)+(B)		千円	432,883	563,384	565,289	450,338	383,010	383,010	
活動指標	ア	m	5,918	8,729	8,006	4,801	3,800	3,800	
対象指標	イ	件	25,900	25,940	26,000	26,050	26,100	26,150	
成果指標	ウ	件	136	130	125	120	115	110	
上位成果指標	エ	%	97	97	97	97	97	97	


事務事業名	水道建設事業
-------	--------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 住民等から、安全で安定した水道水の供給を常に要求されている。 上水道事業としての配水管の布設であり対象は妥当。
	有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである
	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 水道水の供給のためには、配水管の布設及び布設替は続けていく必要がある。
効率性評価	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 業務課との協議の中で財政状況を勘案して事業費を決定している。また、下水道との同時施工や同時発注を行うことでコスト低減を図っている。

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点) 配水管の新規布設及び老朽化に伴う漏水対策として配水管の布設替時に、管路の耐震化を図り耐震化率の向上を図る。また、効率的な工法も検討しながら事業推進を図る。																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震管を使用することによって、耐震化率の向上が図られるが、工事単価の増加が見込まれる。</li> <li>使用管種について現地の状況を勘案する中で使用する管種を決めている。</li> <li>財政状況により、工事の優先順位を決め事業費を決定していく。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

事務事業名	上水道総務事務				所属部	公営企業部	所属課	業務課
施策名	1 0 快適で暮らしやすい生活環境づくり				所属担当	総務担当	課長名	早川 義彦
法令根拠	地方公営企業法・地方公営企業施行令・地方公営企業法施行規則				個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)
	上水道	1	1	4				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳 水道事業を円滑に進めるための総務事務全般								
・人件費 13,720千円 ・事務的経費 5,139千円								

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
伝票処理、日計処理、決算統計、貸借対照表作成、損益計算書作成、当初・補正予算作成等	伝票処理、日計処理、決算統計、貸借対照表作成、損益計算書作成、当初・補正予算作成、新システム導入等	伝票処理、日計処理、決算統計、貸借対照表作成、損益計算書作成、当初・補正予算作成等	伝票処理、日計処理、決算統計、貸借対照表作成、損益計算書作成、当初・補正予算作成等

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

水道事業会計

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 伝票処理件数	件
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 会計件数	件
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 当期純利益	千円
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 水道漏水改修件数	件

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

円滑に安定した運営ができる

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

安心、安全な水の供給ができる

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	5,411	6,627	5,139	5,479	5,200	5,200
	事業費計(A)	千円	5,411	6,627	5,139	5,479	5,200	5,200	
人件費	正規職員延従事人数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
	人件費計(B)	千円	13,270	13,720	13,720	13,720	13,720	13,720	
トータルコスト(A)+(B)		千円	18,681	20,347	18,859	19,199	18,920	18,920	
活動指標	ア	件	9,560	9,611	8,700	8,800	9,000	9,000	
対象指標	イ	件	1	1	1	1	1	1	
成果指標	ウ	千円	-37,749	101,025	-20,184	-29,223	-104,468	-108,443	
上位成果指標	エ	件	94	246	340	340	340	340	


事務事業名	上水道総務事務
-------	---------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 水道事業の円滑に安定した運営を目指しているため、会計を対象とすることは妥当であり、意図についても安心、安全な水の供給ができるためには、安定した経営が必要となるため妥当である。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 過去数年間、当期純利益がマイナスとなっており、安定した経営を目指すには、検討する余地があるため、あるべき水準には達していない。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 この事業を廃止、休止、活動量削減をした場合、市の水道事業の財務管理する事業がなくなり、安定した水の供給ができなくなり、多くの市民が困る。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 会計を運営していく上での必要な経費については、削減に努めており、これ以上の削減については、余地がない。必要最低限の人員で会計処理をしているため、人件費についても適切である。

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点) ◇日々の会計処理は適切に行なっているが、ここ数年、当期純利益の変動が激しい状況となっている。																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み ◇法改正による会計基準の見直しに伴う会計処理の熟知が必要。 ◇会計処理及び財務諸表作成のシステム活用。 ◇効率的な事務処理の仕組みや方法の検討を行なう。																						

事務事業名	水道使用料徴収事業				所属部	公営企業部	所属課	業務課
施策名	1	0	快適で暮らしやすい生活環境づくり		所属担当	料金担当	課長名	早川 義彦
法令根拠	水道事業給水条例・公共下水道使用料等徴収条例 ・春日居地区温泉給湯使用料等徴収条例				個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)
	上水道	1	1	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳 水道・下水道・温泉使用料徴収事業全般								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・賃金・検針業務委託料等 23,071千円</li> <li>・納付書等送付料 3,098千円</li> <li>・システム保守料 2,827千円</li> <li>・納付書等印刷費 510千円</li> </ul>								

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
納入通知書送付、催告書送付、戸別訪問、分納約束、コンビニ収納、給水停止 徴収業務の外部委導入について、上下水道審議会へ諮問、答申を受けた	納入通知書送付、催告書送付、戸別訪問、分納約束、コンビニ収納、給水停止、徴収業務の外部委託導入について検討	納入通知書送付、催告書送付、戸別訪問、分納約束、コンビニ収納、給水停止、徴収業務の外部委託導入について検討	納入通知書送付、催告書送付、戸別訪問、分納約束、コンビニ収納、給水停止、徴収業務の外部委託導入について検討

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

水道・下水道・温泉使用者

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 戸別訪問数	戸
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 水道・下水道・温泉使用者数	人
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 収納率	%
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 当該年度純損失会計数	会計

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

期限までに適正な料金を支払うようになる

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

それぞれの会計が、安定した経営ができるようになる

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	33,931	36,018	35,397	31,512	30,000	30,000
	事業費計(A)	千円	33,931	36,018	35,397	31,512	30,000	30,000	
人件費	正規職員延従事人数	人	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	
	人件費計(B)	千円	39,810	41,160	41,160	41,160	41,160	41,160	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	73,741	77,178	76,557	72,672	71,160	71,160	
	活動指標	ア 戸	4,436	4,372	3,900	4,000	4,100	4,200	
	対象指標	イ 人	39,900	40,300	40,451	40,400	40,400	40,400	
	成果指標	ウ %	85	85	87	88	89	90	
	上位成果指標	エ 会計	1	1	1	1	1	1	

事務事業名	水道使用料徴収事業
-------	-----------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 それぞれの事業は、受益者負担によって成り立っているため、使用者を対象とすることが妥当である。また、使用者の公平性を保つため、期限までに適正な料金を支払うようになることは実態と合っている。
	有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである
効率性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 それぞれの事業については、使用料金を主な財源としているため、廃止・休止した場合、事業が成り立たなくなり、多くの市民が困る。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input checked="" type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 包括的に外部委託をする事により、事業費や人件費を削減する余地があり、検討を進める必要がある。また、収納率についても、外部委託により向上が見込める。

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点) ◇収納率向上のために専任職員が精力的に臨戸訪問により納付を促すとともに徴収を行なっている。また、毎週火曜日を給水停止日として納付を促しているが分納誓約者が多く成果が出ない。 ◇外部委託導入に向けて、今後本格的に検討を進めて行く。																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み ◇過年度分となると徴収が厳しくなるため、現年度分の徴収に重点を置き未収金対策を行なう。 現年度を過年度にしないように徴収の強化を行なう。 ◇外部委託導入に向けて、今後、住民の理解を得ながら、情報収集に努め、本格的に検討を進めて行く。																						



事務事業名	公共下水道整備事業						所属部	公営企業部	所属課	下水道課
施策名	1	0	快適で暮らしやすい生活環境づくり				所属担当	施設担当	課長名	土屋 伝二
法令根拠	下水道法						個別計画	「流域別下水道整備総合計画」 「峡東流域下水道計画」		
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)		
	21	2	2	1	10	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
・下水道計画は、昭和52年に基本計画が策定され「峡東流域下水道計画」の関連公共下水道として計画が進められ、現在の笛吹市全体計画は3,299.2ha、事業認可は2,512.8haです。 ・平成27年度の主な事業費(単位:千円)										
事業費										
・工事請負費 306,285										
・委託費 49,072 ・補償費 24,507										

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
管渠布施工事 L=2,792m	管渠布施工事 L=1,935m	管渠布施工事 L=2,500m	管渠布施工事 L=2,500m

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

下水道整備区域に居住する住民

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 施工延長	m
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 下水道整備計画区域に居住する住民の数	人
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 下水道整備計画進捗率	%
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 生活排水処理率	%

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

公共下水道を利用できる

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

市民が生活排水を処理でき、公共用水域の水質が保全される。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
事業費	国庫支出金	千円	163,207	74,427	86,208	75,000	75,000	75,000	社会資本整備総合交付金
	県支出金	千円							
	地方債	千円	261,600	298,300	220,000	279,900	300,000	300,000	
	その他	千円	230,855	111,066	78,363	36,200	40,000	40,000	
	一般財源	千円							
事業費計(A)	千円	655,662	483,793	384,571	391,100	415,000	415,000		
人件費	正規職員延従事人数	人	5.50	4.10	4.10	4.10	4.10	4.10	
	人件費計(B)	千円	36,493	28,126	28,126	28,126	28,126	28,126	
トータルコスト(A)+(B)		千円	692,155	511,919	412,697	419,226	443,126	443,126	
活動指標	ア	m	4,273	2,928	2,792	1,935	2,500	2,500	
対象指標	イ	人	43,167	44,480	45,092	45,857	46,627	47,397	
成果指標	ウ	%	60.0	62.0	62.8	64.0	65.0	66.0	
上位成果指標	エ	%	72.7	75.3	76.9	77.6	78.3	79.1	


事務事業名	公共下水道整備事業
-------	-----------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 上位計画である「流域別下水道整備総合計画」「峡東流域下水道計画」に基づき、総合計画として作成され遂行されているものであり、妥当である。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 財政面での問題があり、計画予定水準に達していない。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 計画的に行っている事業であるが、財政面で問題があり規模を縮小せざるを得ない状況にあり、その結果としての影響は大きい。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 現在の計画における普及率はいまだ60%台であるため、事業を継続しなければならない。
効率性評価		

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)  <p>残された地域に一刻も早く下水道を整備する必要がある。一方、既整備地区の増大した下水道施設の老朽化対策や改築・更新が求められている。そこで、より効率的な下水道施設の整備を適切な役割分担の下、計画的に実施していき、全体計画の見直しを図る必要がある。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み  <p>市の財源が限られている中で家屋密集地域を優先的に整備し、道路線形に合わせ建設コストの削減を行い普及率を向上させる。</p>																						

事務事業名	下水道受益者負担金徴収事業					所属部	公営企業部	所属課	下水道課
施策名	1	0	快適で暮らしやすい生活環境づくり			所属担当	総務担当	課長名	土屋 伝二
法令根拠	笛吹市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例及び条例施行規則					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)	
	21	1	1	1	30	1			
○事務事業の概要および主な事業費の内訳									
(経緯) 合併時に各町村において行っていた受益者負担金業務を統一。市として同一のシステムにおいて賦課徴収を行い効率化を図る。 (内容) 都市計画法及び地方自治法に基づき下水道事業に係る経費の一部を受益者(対象者)より徴収する。工事翌年度に賦課徴収する。過年度滞納については、H23.10から臨時徴収員を雇用し、徴収に当たっている。 ◇平成27年度の主な事業費(単位:千円) ・賃金 2,000 ・報償費 4,821 ・償還金 827									

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
受益者に負担金を賦課、説明会の開催、広報PR 一括納付報奨金の交付 負担金未納者への督促	受益者に負担金を賦課、説明会の開催、広報PR 一括納付報奨金の交付 負担金未納者への督促、受益者負担金システムの更新	受益者に負担金を賦課、説明会の開催、広報PR 一括納付報奨金の交付 負担金未納者への督促	受益者に負担金を賦課、説明会の開催、広報PR 一括納付報奨金の交付 負担金未納者への督促

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

当該下水道整備区域の受益者(土地所有者等)

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
ア 納付書送付件数	件
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
イ 受益者負担金調定件数	件
⑦ 成果指標(事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 現年度負担金徴収率	%
⑧ 施策の成果指標(施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 水洗化率	%

③ 意図(対象をどのような状態にしたいのか)

下水道事業の理解を深める。  
下水道整備に係る工事費が円滑に確保できる。

④ 結果(意図した結果、さらに何に反映させるか)

負担金納入による住民の不公平感の解消。  
下水道接続への意識向上。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
事業費	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	9,731	11,138	7,840	17,768	8,000	8,000	
	一般財源	千円							
事業費計(A)	千円	9,731	11,138	7,840	17,768	8,000	8,000		
人件費	正規職員延従事人数	人	1.70	1.70	1.50	1.50	1.50	1.50	
	人件費計(B)	千円	11,280	11,662	10,290	10,290	10,290	10,290	
トータルコスト(A)+(B)	千円	21,011	22,800	18,130	28,058	18,290	18,290		
活動指標	ア	件	900	700	500	400	400	400	
対象指標	イ	件	4,146	3,479	2,790	2,000	2,000	2,000	
成果指標	ウ	%	96	98	98	98	98	98	
上位成果指標	エ	%	85.4	85.0	85.5	85.5	86.0	86.0	


事務事業名	下水道受益者負担金徴収事業
-------	---------------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？	⇒【理由】 実施計画に掲げている内容は妥当であり、さらに下水道事業の理解を深めるため。
	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	
有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？	⇒【理由】 徴収率等、収納率は市税やその他の徴収率に対し、上位に位置し、住民へのきめ細かな対応が実施されており、高水準の成果を上げている。
	<input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	
効率性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？	⇒【理由】 建設財源の一部であるので、滞ると建設計画に影響が出る。
	<input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	
効率性評価	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？	⇒【理由】 事業が実施できるぎりぎりの人員であり、これ以上の削減は事業遂行に支障が生じる。
	<input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)																						
<p>条例で定められた事業なので、条例・規則に沿った誤りの無い執行が当然である。その中で、事業の効率化等検討の余地が発見されたら逐次検討・導入を行なっていく。          受益者負担金システムの更新が必要不可欠であり、常に迅速かつ正確及び丁寧に事業に取り組んでいく。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み																						
<p>徴収業務を外部委託にすることも検討が必要と思われる。ただし、人員やコスト面は削減できるかもしれないが、徴収率や住民に対する細やかな対応等が低下することも想定され、現状のサービスをどう維持していくかが課題。</p>																						

事務事業名	下水道維持管理事業						所属部	公営企業部	所属課	下水道課
施策名	1	0	快適で暮らしやすい生活環境づくり				所属担当	総務担当	課長名	土屋 伝二
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)		
	21	2	2	2	10	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
公共下水道汚水管渠施設(管渠、柵、ポンプ)の維持管理事業 主な事務の内容は次の通り ①詰まり、陥没等による利用者からの電話受け ②現場での状況確認 ③業者手配 ④警察・管理者等との協議 ⑤修繕工事(委託) ⑥工事後の完了検査 ⑦定期的なポンプ機器の現場確認(委託)										
◇平成27年度の主な事業費(単位:千円) ・需用費(修繕費等)18,000 ・委託料18,472 ・工事請負費5,270										

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標			
① 手段(主な活動)		← 実施計画期間 →	
27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期点検 (清掃を含む。)</li> <li>補修・修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期点検 (清掃を含む。)</li> <li>補修・修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期点検 (清掃を含む。)</li> <li>補修・修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期点検 (清掃を含む。)</li> <li>補修・修繕</li> </ul>
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		指標名(数字は記入しない) 単位	
↓ 下水道管渠等下水道施設		⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
		ア 点検回数 (清掃延長を含む。)	回
③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
↓ 下水道管渠等下水道施設機能が永続的に維持でき、下水道を安定的に利用できるようになる。 事故及び故障を未然に防ぐことができるようになる。		イ 管渠延長	km
		⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)		ウ 事故及び故障箇所、緊急対応件数	回
↓ 下水道の安定利用 生活環境の向上		⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
		エ 生活排水処理施設整備実施状況 (生活排水クリーン処理率)	%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	71,312	65,014	46,000	65,000	66,000	66,000
	事業費計(A)	千円	71,312	65,014	46,000	65,000	66,000	66,000	
人件費	正規職員延従事人数	人	1.40	2.00	2.00	1.50	1.50	1.50	
	人件費計(B)	千円	9,289	13,720	13,720	10,290	10,290	10,290	
トータルコスト(A)+(B)		千円	80,601	78,734	59,720	75,290	76,290	76,290	
活動指標	ア	回	2	2	2	2	2	2	
対象指標	イ	km	383	386	388	390	392	393	
成果指標	ウ	回	7	3	4	6	7	7	
上位成果指標	エ	%	74.3	75.2	75.6	76.0	76.5	77.0	


事務事業名	下水道維持管理事業
-------	-----------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 対象が敷設済みの全管渠及びマンホールの維持管理であるため。 上位施策とも整合している。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 改修・改善する場所（箇所）は多々あるが、どうしても多額の費用が掛かるため、計画的な改修等を行っていく必要があるため。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 不明水の増加に伴う料金への影響、構造物の破損による生活への影響など多大である。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 維持管理を行なう管渠は、年々増設されているため、増加はあっても削減は無い。

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)  <p>現在も新設管は延長し続けており、事業費は増えることはあっても減ることはない。施設の経年劣化もあり、維持管理は今後更に増加していくため、経費削減に関して更に研究を進め、改善すべきところは積極的に行っていく。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み  <p>限られた予算の中で、効率的に使用しながらの対応に取り組む。 維持管理するにも経費は掛かるが、無駄なコストの削減に努めていく。</p>																						

事務事業名	合併処理浄化槽設置促進事業					所属部	公営企業部	所属課	下水道課
施策名	1	0	快適で暮らしやすい生活環境づくり			所属担当	施設担当	課長名	土屋 伝二
法令根拠	浄化槽法					個別計画	循環型社会形成推進地域計画		
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H26年度～)	
	1	4	3	1	20	1			
○事務事業の概要および主な事業費の内訳									
・下水道整備計画外地区の合併浄化槽設置整備事業 ・平成27年度の主な事業費(単位:千円) 事業費 5,704									

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動)										
← 実施計画期間 →										
27年度実績		28年度実施計画			29年度実施計画		30年度実施計画			
合併処理浄化槽 11基設置		合併処理浄化槽 17基設置			合併処理浄化槽 17基設置		合併処理浄化槽 17基設置			
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)					指標名(数字は記入しない) 単位					
↓ 下水道整備計画外地区の世帯					⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)					
					ア 対象者リスト作成数				件	
③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)					
↓ 水洗便所が普及するようになる。 合併浄化槽を設置するようになる。					イ 下水道整備計画外地区の合併浄化槽未設置 件数				件	
					⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)					
④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)					ウ 実施世帯数				世帯	
市民が生活排水を処理でき、公共用水域の水質が保全 される。					⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)					
					エ 生活排水処理率				%	
(2) 総事業費・指標等の推移										
投入量	事業費	国庫支出金	千円	25年度 実績	26年度 実績	27年度 (実績・見込)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	30年度 (計画・目標)	補助事業名
		県支出金	千円		2,189	2,189	2,189	2,189	2,189	
		地方債	千円		2,189	1,325	2,189	2,189	2,189	
		その他	千円							
		一般財源	千円		2,190	2,190	2,190	2,190	2,190	
	事業費計 (A)	千円	0	6,568	5,704	6,568	6,568	6,568		
	人件費	正規職員延従事人数	人		0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
		人件費計 (B)	千円	0	2,058	2,058	2,058	2,058	2,058	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	8,626	7,762	8,626	8,626	8,626	
		活動指標	ア	件		150	150	150	150	
対象指標		イ	件		150	150	150	150	150	
成果指標	ウ	世帯		16	11	17	17	17		
上位成果指標	エ	%		75.3	76.9	77.6	78.3	79.1		

事務事業名	合併処理浄化槽設置促進事業
-------	---------------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 下水道整備事業が及ばない地域を補完する事業なので、対象・意図ともに妥当である。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達してない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 計画予定水準とほぼ同じである。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 下水道計画外ゆえの事業であるため、廃止等を行うことにより不公平感が残り支障がある。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 年間補助件数が計画件数内であり、事業費も適切である。
効率性評価		

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点) 都市計画税課税後は、公正・公平性の観点から、都市計画区域内での補助金適用拡充を図る必要がある。																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み ・補助対象地域や補助率など同事業を見直し。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		



事務事業名	下水道加入促進事業					所属部	公営企業部	所属課	下水道課
施策名	1	0	快適で暮らしやすい生活環境づくり			所属担当	総務担当	課長名	土屋 伝二
法令根拠	笛吹市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例及び条例施行規則					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)	
	21	1	1	1	40	1			
○事務事業の概要および主な事業費の内訳									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道事業の目的の周知を図り、加入促進を図るためにPR等を行う。</li> <li>・受益者負担金の未納者に対する徴収業務等</li> <li>・下水道まつり</li> </ul> <p>平成27年度の事業費(単位:千円)</p> <p>人件費 1,850 補助金 25</p>									

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・加入促進員による未加入世帯各戸訪問による、接続依頼。</li> <li>・山梨県下水道まつり開催による下水道PR。</li> <li>・下水道接続融資斡旋事業</li> <li>・下水道接続世帯データ整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット各戸配布による下水道PR、接続依頼。</li> <li>・スーパーマーケット店頭での加入促進キャンペーン</li> <li>・下水道接続融資斡旋事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット各戸配布による下水道PR、接続依頼。</li> <li>・スーパーマーケット店頭での加入促進キャンペーン</li> <li>・下水道接続融資斡旋事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット各戸配布による下水道PR、接続依頼。</li> <li>・スーパーマーケット店頭での加入促進キャンペーン</li> <li>・下水道接続融資斡旋事業</li> </ul>

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

↓  
供用開始区域に居住する、下水道への未接続世帯

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

↓  
未接続世帯の下水道加入を促し、接続率を上げる。

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

水洗化率・生活環境・使用料金の増収・下水道会計の財源確保

指標名(数字は記入しない)		単位
⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)		
ア	PR実施の対象者件数 (供用開始対象世帯)	件
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)		
イ	未接続世帯者数	世帯
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)		
ウ	接続件数	件
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)		
エ	水洗化率	%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 (実績・見込)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	30年度 (計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	546	1,623	1,992	700	700	700
		一般財源	千円						
	事業費計 (A)	千円	546	1,623	1,992	700	700	700	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.20	0.20	0.30	0.20	0.20	0.20	
	人件費計 (B)	千円	0	1,372	2,058	1,372	1,372	1,372	
トータルコスト(A)+(B)		千円	546	2,995	4,050	2,072	2,072	2,072	
活動指標	ア	件	350	500	250	280	300	300	
対象指標	イ	世帯	3,100	3,300	3,220	3,200	3,200	3,200	
成果指標	ウ	件	314	301	330	300	300	300	
上位成果指標	エ	%	85.4	85.0	85.5	85.5	86.0	86.0	

事務事業名	下水道加入促進事業
-------	-----------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？	⇒【理由】 下水道利用の普及が、下水道施設の効率的使用になるため。
	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	
有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？	⇒【理由】 供用開始戸数の割合と比較して、接続世帯の増加割合は多い。
	<input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	
効率性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？	⇒【理由】 施設を有効利用することで、使用者(市民)への負担均等になるため、廃止することは負担の不均衡を生むことから、影響が生じる。
	<input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	
効率性評価	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？	⇒【理由】 必要最低限の費用で実施されており、削減余地が無い。
	<input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)																						
◇他自治体に比較しても重点的に取り組んでいると思われるが、さらに独自のアイデアを取り入れながら加入促進を進めていく。																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み																						
下水道加入促進に併せ、受益者負担金の未納徴収者への納入推進と訪問徴収を継続的に進めるためには、どうしても継続的に臨時職員に頼る必要がある。また、下水道課の職員数が年々削減される中、どうしても臨時職員がいないと業務が回っていかない。																						